



ここ数年、教育環境はめまぐるしく変化を伴う大学生の定員割れや財政問題をたびたび報道してきましたが、名古屋柳城短期大学も、

そうした社会状況に適切に対応することが求められています。

厚生労働省は従来あまり問題にしなかった、授業回数や入学定員数の遵守をそれぞれの学校に厳しく要求してきました。そのため、2006年度のカリキュラム編成は、知恵を絞っての作業となりました。土曜日の授業開講といった方法で、授業回数

の問題は解決できましたが、定員問題については、現状の入学許可人数に近い定員数に変更できるように厚生省にお願いをしているところです。先日、入学定員増に関する申請書類を厚生省に提出いたしました。認可していただけることを祈っているところです。

新しい入試方法の導入もお知らせしなくてはいいけません。従来、短大は専願の推薦入試と一般入試という二つの入試方法をとってきましたが、今年はそれらに加えて、併願推薦とOA入試という新たな入試方法を導入いたしました。多くの受験生が本学に関心を持ち、受験をしてもらえればと願っているところです。

短大にとってうれしいニュースがあります。昨年、髯櫛先生や図書委員会を中心に二つの紙芝居に関する研究プロジェクトを

2006年度を迎え

学長 永見 勇

立ち上げ、独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」に応募をいたしました。プロジェクト名は「紙芝居、ネットーテレビのなかった時代に子どもたちの目を輝かせたメディア」、「こども文化と紙芝居プロジェクト2006」の二つです。幸い、両方のプロジェクトに助成金を交付していただくことになりました。今年は、短大全体が、この研究プロジェクトに関わり、紙芝居フォーラムなどを開催すること

なっています。そのうち、そのプログラムの詳細を皆様にお知らせしたいと思っていますが、多くの方々の参加をお待ちしています。

附属幼稚園も様々な知恵を絞って現在の社会変化に対応していく必要があるようです。現在、就学前児童への総合的な幼児教育・保育施設構想が国会で議論されていることはご承知のことと思います。幼保一元化「認定こども園」法案という名前で議論されているものがその構想です。本国会で認められますと、今年の10月には全国約1,000カ所の施設が認可されることになるといわれるとされています。柳城学院としても、この問題に真剣に取り組む、今後の附属幼稚園教育のあり方を考えていく必要があるようです。

以上のように、私どもは社会の様々な要望に適切に対応することが求められています。しかし、柳城が100年以上の年月をかけて培ってきた幼児教育の様々な伝統と遺産を後世の保育者に伝えていく義務が私どもにはあります。私どもに課せられた課題は、伝統の維持と改革という異なる営みをどのようなバランスを持って、従事していくかを考えていくことだと思っています。

新任（専任）教職員紹介

小平 英志（専任講師）



今年度より専任講師として着任しました、小平英志と申します。名古屋には大学院時代から住んでおりましたので、この土地とはずいぶん長い付き合いになりました。名古屋の味噌文化（？）にも、どっぷり浸かりつつあります。はじめて名古屋に来たときには、友人宅の冷蔵庫にマヨネーズやケチャップとともにチューブの味噌が入っているのを見て、大変驚いたものでした。田舎者ですので、名古屋の適度な都会の雰囲気も合うみたいです。

私の専門領域は人格・社会心理学、情報教育です。授業では「情報機器の操作」、「教育方法・技術」などを担当しています。

残念ながら介護福祉専攻の学生さんとはお会いする機会が少ないのですが、保育科・保育専攻の一年生、二年生とは、授業で関わることが多いかと思えます。幼児教育者への道は、言うまでもなく、険しいものです。幼児教育者自身の人格の成熟、また、技能的な面では、コンピュータ・スキルの獲得に、少しでも力添えできればと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

長谷中 崇志（専任講師）



二〇〇六年四月より着任した長谷中崇志です。保育科の社会福祉、保育専攻の地域福祉研究、介護福祉専攻の老人福祉論等を担当しています。大好きな愛知と伝統ある名古屋柳城短大に來

ることが出来、大変うれしく思っています。私はこれまで、教育面では、社会福祉専門職の一つである社会福祉士養成に携わってきました。また、研究面では、地域福祉を専門とし、中山間地域において、地域福祉計画の策定を通して住民と行政機関等の協働による地域再生に向けた取り組みを行っています。

今日、より高い専門性が社会福祉専門職（保育士・介護福祉士）に求められています。例えば、保育士には、保育に加えて地域住民への子育て支援の役割も求められています。また、社会福祉専門職には、専門的知識・技術だけでなく、人間性（人間的な魅力）も必要とされます。学生の皆さんとの対話を大切に、将来、利用者から信頼され、かつ、質の高い支援を行うことができる専門職の育成に少しでも貢献できればと思っています。よろしくお願いいたします。



村田 康常（専任講師）



今年度より専任講師として赴任した村田康常です。担当科目は、保育科の「文章作成オリエンテーション」や保育専攻の「論文作成オリエンテーション」など、「読む」、「書く」、「考える」といった基礎的な能力を養う授業が中心です。専攻科では、キリスト教倫理を学ぶ科目も担当します。これらの科目では、ものごとを深く考え、考えたことを言葉で表現することの大切さを伝えていきたいと思っています。

柳城には、保育・幼児教育・介護の専門家をめざすみなさんのしっかりした目的意識と活気が満ちています。その中で、ときには立ち止まって、自分自身をじっくりと見つめ、周囲の人との関わりを見つめ直す機会も必要になるでしょう。学生生活では、喜び、楽しむことと同様

に、考え、悩むことも、大事なことです。そうした経験を通して、学んだ知識が本当の力になっていきます。基礎的な科目は、迷ったり悩んだりすることが、学ぶということに結びつく科目なのです。将来、責任ある保育者として現場に立つために、自分自身の哲学を身につけてほしいと願っています。

水野 美穂
（豊田幼稚園 教諭）



「幼稚園教諭になりたい」そんな思いで夢を目指してきましたが、この春、ついに附属豊田幼稚園で念願の夢を叶えることが出来ました。私は、三歳児十六名の子どもたちを受け持つことになり、初めて入園式の日には、子どもたちと出会った時には、嬉しきで涙が出そうになりました。そして、子どもたちと出会っ



て、一ヶ月が経ちました。入園当初は、毎日泣きながら登園してきた子どもも、今では元気に挨拶が出来るようになりました。私も、少しずつ子どもたちのことが解るようになり、毎日信頼関係が築けるようになっていきます。保育が終わった後には、子ども一人ひとりのことを考え、子どもたちみんなが楽しく過ごせるにはどうすれば良いのか考え、反省をしています。

また、保育をしていく中で、柳城短大で学んだことが少しずつ分かるようになり、短大での二年間が貴重な時間であったことを改めて気付きました。

これから、一年を通して子どもたちの成長を見守りながら、自分自身も教諭として、また一人の人間として、大きく成長していきたいと思えます。

太田 久貴

(豊田幼稚園 教諭)



こんにちは。二〇〇六年四月より附属豊田幼稚園で勤務しています。太田久貴です。

柳城のみんなの夢である「保育者」を仲間と共に目指してきて、ついに叶える事ができました。新任である私ですが、年中組の担任を持たせていただいた、とても幸せです。また、同時に責任も感じています。一年間クラスの子どもは、自分の子どもです。年齢にあった発達ができるように、ねらいが達成できるように保育をしなくてはなりません。しかし、今の自分には余裕がなく、「どうして言ったことをやってくれないのか」「なんでわからないのか」そんな気持ちを持ってしまい、毎日反省ばかりしています。子どもの中には、やろうとする気持ちをもっているかもしれない。自分で

やろうとする気持ちをもつこと、それだけでその子にとっては、大きな成長だと思えます。大人は、どうしても、目に見える結果を求めてしまいます。保育者はそれではいけません。もっと、目に見えないことから感じ取り、子どもと共に喜びを味わい、自分の保育を見つけていきたいと思えます。私のクラスのひまわり組の子どもは、とてもかわいいですよ。

佐藤 章裕

(入試広報課 職員)



本年一月よりお世話になっております。入試広報課で学生募集と入試に関わるお仕事をさせて頂いていただいております。今まで学校に関わって仕事をしてきましたが、ここ柳城で経営の一端に関わる学生募集をさせていただくことに不安と期待と入り混じった気持ちです。

今年度もすでに学生募集は始まっており、高校での説明会や名古屋市内やその近郊でおこなわれる会場説明会などに参加をさせて頂いていただいております。多くの高校生と出会い、柳城の良さを伝えることができたらと思っています。108年という柳城の重みをしっかりと感じながら、明るく元気で今を十分に楽しみながら、誰と会ってもあいさつができる学生たちの姿を高校生に伝え、実際に柳城に足を運んでもらって「柳城に入りたい!」「柳城が好きになりました!」そんな声をたくさん聞けるような対応ができればと思っています。

柳城にとって学生たちの笑顔や大きな声は、大切な宝だと思っています。それをいかに受験生などに伝えていくかが私の仕事だと思っています。多くの先生方と学生の協力をいただきながら学生募集活動をおこなっていききたいと思います。



オープンキャンパス日程

七月二十二日(土)

十三時より

模擬講義・個別相談

ピアノレッスン見学

九月九日(土)

十三時より

模擬講義・個別相談

小論文対策講座

保育の遊びを楽しもう

十一月三日(祝)

柳城祭との同時開催

十時より

個別相談

柳城では、多くの高校生と出合える場として、右記のとおりオープンキャンパスを予定しています。近隣で保育を目指す高校生がお見えになりましたら、ぜひ柳城のお話をしてあげてください。当日は、多くの学生がオープンキャンパスの手伝いをしてくれます。学生と気軽に話をして触れ合っていて、柳城を実際に感じてみて欲しいと思っています。日祝日以外であれば飛び込みでの見学もOKです。気軽に遊びに来てください。

同窓会

母校で会いましょう

ホームカミングデーへのご案内
(十一月三日(祝) 柳城祭にて)

同窓会会長 青山 道

今年も新卒者(短大一七六名 専攻科三三名)をおむかえしてスタートいたしました。同窓会のありようと運営のあり方など皆様の思いを考えて行つてゆきたいと思ひます。どうぞご意見をお寄せ下さい。

毎年 柳城祭で「コーヒーショッブ」を同窓会として開いております。例年多くの卒業生の皆様を訪れて下さいます。今回は新しい試みとして「ホームカミングデー」として、皆様をおむかえしたいと思ひています。

どうぞお友だちとお誘い合せて下さり、母校へぜひおいで下さい。お待ちいたしております。

合同クラス会便り

(昭和三五年卒・三六六年卒)

昭和三六年卒 小倉 泰子

昨年九月に神戸で行われた、昭和三五年卒のクラス会に誘われて、昭和三六年卒の三人の者

が参加させてもらいました際、「次は合同のクラス会を開きましょう」ということになり、今年四月十九日・二十日に広島県福山市の瀬戸の浦で合同クラス会が開かれました。

昭和三五年卒が五人、三六年卒が一〇人、合計十五人でした。幹事は昭和三五年卒が小松伯子(旧姓 高橋)さん、三六年卒が有木順子(旧姓 福岡)さんでした。

福山駅に集合後、早速バスで船乗り場に向かい、船に乗り「仙酔島」へ向かいました。この島は無人島で宿舎があるのみです。船が着くと、最近住み始めたという狸が出迎えてくれました。国民宿舎に入って、蓬茶をいただいた後、少し付近を散策しました。数年前に台風で崖崩れがあったとの事で島を一周することは出来ませんでした。海の水が澄んでいて、「青さ」(青海苔)が沢山はえているのが見えました。部屋に落ち着いてから、お抹茶をたてて頂きました。御手前は松本(牛尾)さん・山路(近藤)さんでした。それぞれお風呂に入ったり、休

んだりして、六時から夕食をいただきました。卒業以来四五、六年ぶりにお会いした方もありました。すぐにうちとけて、久しぶりに校歌・聖歌を歌ったり、オカリナの演奏もあつたりして、楽しい宴会となりました。

瀬戸の浦は瀬戸内海の中央にあたり、潮の流れが変わる所で、プランクトンが沢山おり、魚、殊に鯛が沢山採れるそうです。五月には鯛網漁が行われるとの事。鯛のお刺身に塩をつけて食べることを教わり、おいしくいただきました(新鮮だからでしょう)。従業員の方々が八時過ぎには島から引き上げるとのことで、早めに食事を終えました。各部屋に戻り、楽しくおしゃべりした後、波の音を聞きながら眠りました。翌日は風が強く吹き、朝方は波の音が荒あらしく聞こえました。朝の散歩にも出ることが出来ませんでした。九時過ぎに船で瀬戸の浦に戻りました。この日は強風で二、三時間後には渡船が欠航になったそうです。幹事の有木さんのお友達のご主人のガイドで、瀬戸の浦を歩きました。まず、万葉集の同伴旅人

の「吾妹子が見し瀬の浦のむろの木は常世にあれど見し人ぞなし」の歌碑を見ました。この歌に詠まれているように、古くから、潮待ち風待ちの港として、又大陸との交易の場として栄えてきたそうです。特に、江戸時代には北前船が往来し商人の町として栄え、今も名所、旧跡が点在しています。福禅寺・対潮楼からの眺めは素晴らしく、十八世紀には朝鮮通信使の人達が

名古屋柳城短期大学 クリスマスコンサート へのお誘い

恒例のクリスマスコンサートが十二月十三日(水)午後6時から新栄町にある名古屋芸術創造センターで開かれます。これは広報の一環としての学校行事です。

今回は第一部で音楽担当教員によるシューベルトの生涯のお話とその作品の演奏です。第二部では学生によるハンドベルの響きと女声コーラスでクリスマスの雰囲気味わって下さい。今年から名古屋柳城短期大学同



江戸に向かう時、必ず立ち寄ったそうです。住職様の説明が名調子で楽しかったです。名物の保命酒の店に寄り、お土産を買った後「ちとせ」で昼食をいただき、バスで福山駅へ向かい、美術館で絵を鑑賞し散会となりました。楽しい時間はあっという間に去り、又次回にお会いする事を約束しお別れしました。幹事様達色々とお世話になりました。うございました。

窓会のぞみの会が後援をして下さる事になりました。卒業生、受験生、一般の皆様、お誘い合わせの上御来場下さい。お待ち申し上げます。(入場無料) ●お問い合わせ
名古屋柳城短期大学 学長室
西まで TEL 052-841-2635

Christmas Concert
音楽発表会のご案内 入場無料

2006年12月13日(水)
PM6:00開演(PM5:30開場)

第1部 シューベルトとその作品
第2部 合唱とハンドベルの響き

会場：名古屋芸術創造センター
地下鉄東山線「新栄町」下車1番出口を北へ徒歩3分

保護者会

保護者会会長 松原あづさ



柳城を卒業してから二十五年あまり経ちました。娘が

柳城に通うことになり、何度も学校に足を運ぶ機会をいただき懐かしい思いで一杯です。

私に通っていた頃と比べると街の様子も変わり、公園がマンションになっていたり、お店ができていたりとうっかり通り過ぎてしまいうちになります。何より変わったものは、校舎です。飛んだり跳ねたりしたら床が抜けそうだった木造の校舎から、レンガ造りの立派なものに変わりました。しかし、不思議なものです。外観は変わっても柳城の敷地に一歩足を踏み入れると、あの頃と変わらない空気に包まれる思いがします。それは、良い保育者になるという夢に向かい学び、つまずき、泣いたり、笑ったりして過ごした日々、それを支えてくださった先生方の熱い思いが今も流れているから

でしょうか。先生方が、熱心に学生と向き合い「保育者」になるための「心」を伝えて下さる。一人ひとりをとっても大切にして下さい、資格取得のための指導ではなく「こころ」を育てる指導により愛情深い保育者になることを教えて下さいました。柳城に母娘で通えたことを、とても幸せに思います。

本年度、保護者会の会長を務めさせて頂くことになり保護者会会員、委員の皆様、先生方のご協力をいただき非力ではありますが、お役に立てますよう頑張らせてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

保護者会役員

会長	松原あづさ
副会長	森本 啓子
会計監査委員	浅川 睦美
委員	鹿島 優子 浅井 弘子 川橋有紀子 高畠由美子 橋本みゆき 高木みさ枝
	杉岡知佳子 梶田 弘子 八木 裕子 中村 昌江 黒田 緑 牧山美佐代

附属幼稚園便り

柳城幼稚園

園長 中野 早苗

国立病院でのキャロリング

ここ数年の間、某デパートのキャロリングに全園児で参加していましたが、昨年はデパートの都合で来年に延期になりました

た。困っていたところ、園児の両親が勤めている国立病院に、声をかけていただきました。午後一時から、年長児だけのキャロリングが始まりました。診察を終えた待合室は静かでしたが、車椅子に乗った人、頭に怪我をしている人、入院して



いるおじいさん、おばあさん、看護師さんから、沢山の拍手と「ありがとう」の言葉を何回もいただいで、子どもたちも少し恥ずかしそうでした。帰り道、女の子が、水筒のふたに付いているクマの人形を落とし、取りに戻るとクマは、車にひかれ、つぶれていました。泣き出すかもしれないと、心配した私に「人でなくて

よかった」と言って、ニコリ。周りにいた子どもたちも、温かい気持ちに包まれました。今回のキャロリングは、例年のように、華やかなクリスマスの飾りや、まぶしいほどのライトもありませんでした。子どもたちも私たちも、心が穏やかに満たされたような気持ちでした。神さまは、すべてを益として下さることを痛感しました。

豊田幼稚園

主任 南川たか子



「わんわん大サーカス」犬との触れ合いを楽しむ緑豊かな環境の中で園児たちは遊びを満喫し、汗をいっぱいかくと木陰で一休みの繰り返しを楽しんでいます。

豊田幼稚園では保護者の会と幼稚園で園児たちのために毎年趣向を凝らし観劇会が行われます。昨年は「わんわん大サーカス」

身近な動物なので子どもたちも保護者の皆さんも興味津々。どのワンちゃんたちもオシャレで可愛く、中にはCMに登場している犬もいました。

一匹一匹得意なことがあり、計算ができたり一列に並んでの



お散歩には拍手喝采。犬と一緒に大縄跳びでは年長児も腕を揮って(?)参加し大いに盛り上がり楽しい思い出ができました。



いろいろな境遇の犬が出会い愛情をいっぱい受けて家族として育てられている。どのワンちゃんたちもやらされているのではなく、自分のできることを喜んでやっている。団長さんからは子どもも犬も「育てる」という意味は一緒。いいことをした時は褒め、いけないことをした時は厳しく叱ることが大切とお話を聞きました。ショーの最後は「触れ合いコーナー」「上手だったね、楽しかった、ありがとう」

とワンちゃんたちにお礼を言い、命あるものを愛おしく感じ、子どもたちと共に育ちあう大切さを今一度考えさせられた一日でした。

三好丘聖マーガレット幼稚園

教諭 土川 恵美

苗植え

マーガレット幼稚園では、五月頃になると、年長組・年中組がプランターにお野菜の苗植えをし、テラスで育てます。

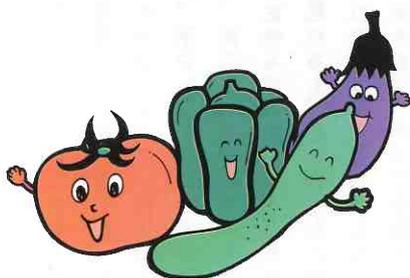
去年は、かぼちゃ・なす・きゅうり・トマト、そして、インゲン豆などを育てました。なす・きゅうり・トマトは年長組、インゲン豆は年中組の担当です。毎日、お当番さん(各学年四名)が交代でお水をあげます。ベランダ菜園は、つるが伸び、花が咲き、実がなる過程を身近に観察できます。「大きくなってきたね。」「こんなところに花が咲いているよ。」「あーっ、こっちにもあるよ。」と言いながら毎日見ていた子ども達。実がなるとときには大歓声が上がりました。テラスの柵に、しっかりと

はりめぐらされ、たつるからは、たくさんの立派な野菜が収穫されました。収穫



さらにヘチマ・ひょうたんを育てる予定です。

したお野菜は、なすは漬物に、ピーマンは炒め物に、また、きゅうり・トマトはサラダにしたりして、給食の時間にみんなで食べたり、各学年で持ち帰って、おうちで調理をしてもらい、食べていただいたりしました。普段の給食では嫌がってお野菜を残してしまう子ども達も、みんなで一生懸命に育てたお野菜は、うれしそうに食べていました。また、一番沢山収穫できたかぼちゃでは、クッキーを作り、『祖父母参観の日』におじいちゃん・おばあちゃんと一緒においしくいただきました。今年、なす・きゅうり・トマト・かぼちゃ・インゲン豆、



紙芝居プロジェクト

「柳城」のあらたな試み―

「子ども文化と紙芝居プロジェクト」(実行委員長・齋藤久美子教授)は、紙芝居の情報センターをめざす本学独自の活動です。その活動がいよいよ動きだしました。ここでは、現在進行中の事業について紹介します。

○フォーラム等の実施

紙芝居は、人間的なふれあいのある双方向のメディアです。

多くの人に紙芝居の魅力を愉しんでもらうためのフォーラム(囲み記事参照)や読み聞かせ会を開催する予定です。

○紙芝居ネットの構築

二〇〇七年四月には、保育紙芝居の情報発信サイト「紙芝居ネット」を開設します。現在は「デジタル紙芝居ギャラリー」「紙芝居実演ライブ」といったコンテンツ制作が始まっているところです。

紙芝居草創期の作品には独特の味わいがあります。「デジタル紙芝居ギャラリー」は、こうした作品を公開し、紙芝居という日本独自の文化の存在を発信

していく試みでもあります。

○紙芝居の学術研究

紙芝居には未調査とされる点が数多く残されています。それは絵本が重要な文化財として学術的に位置づけられてきたこととは対照的でさえあります。

プロジェクトでは、紙芝居がどのように保育界にとりいれられたか、また現代の保育実践にどう生かしていくか等をテーマに研究が進められています。

○紙芝居の収集と保存

紙芝居は昭和の子ども文化を象徴する文化財といえるでしょう。しかし震災によりその多くが失われ、紙質の問題で損耗の危機にある作品も少なくありません。プロジェクトでは、貴重な文化財を伝え残すために、全国に散逸する作品の収集につとめています。

今後の展開にご注目ください。(図書館・種市)

紙芝居プロジェクト ニュース

「子どもゆめ基金」のプログラムに選定

「紙芝居ネット」の構築やフォーラム開催等の活動が、平成18年度子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成プログラムとして採択されました。

紙芝居フォーラムのご案内

日時 2006年10月15日(日)

10時~16時

場所 愛知県勤労会館小ホール

<プログラム>

シンポジウム

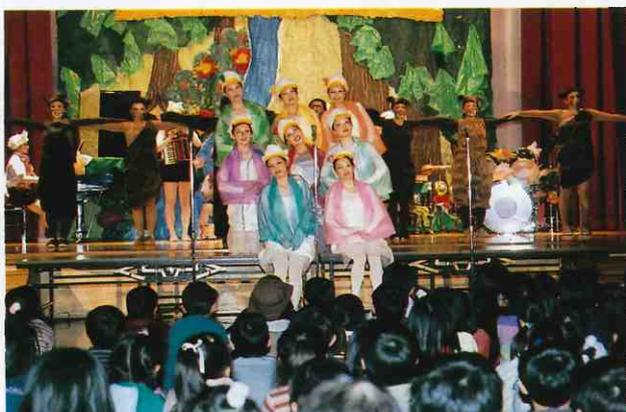
「保育と紙芝居」

実演講座

「紙芝居の上手な演じ方」

※入場無料(定員200名)

※申込・問合せは図書館まで



りゅうじょう子どもフェスタ

子どもたちとの楽しい時間

鈴木 裕子

二〇〇六年二月四日(土)、

「第2回りゅうじょう子どもフェスタ」が開催されました。

「りゅうじょう子どもフェスタ」は、保育者をめざす学生が、子どもを理解することと、子どもの情動的な保育に役立つ創造性と表現力を磨くことをねらいとする「保育内容指導法・実践研究」の授業の最終発表の場です。劇、ミュージカル、人形劇、

二、三年生のボランティアスタッフが会場でもたちのお話をしました。

子どもたち、おとうさんやおかあさん、学生の保護者や友人、高校生など二五〇名以上の観客を迎えました。本学教員による「子育てトークサロン」も併せて開設しました。

今年度は、二〇〇七年二月一二日(振替休日)の開催を予定しています。新しい企画として子どもたちの出演する場面をつくることを考えています。



二〇〇六年度入試結果

保育科一年生一八五名・専攻科保育専攻七名・専攻科介護専攻一八名の新生が入学しました。

入試状況は、大きな志願者の増減はみられませんでしたが、都道府県別にみると、愛知県が圧倒的に多くなっています。

二〇〇七年度入試日程

今年度より入試内容を変更し多様な入試を実施いたします。また入試広報課を独立させ学生募集にも力を入れてまいります。近隣に保育へ進学を希望される方におみえになりましたら、ぜひ、柳城をお薦めください。

- 【保育科】**
- 公募制推薦入学試験A(専願)
 - 願書受付 十月十日～二十三日
 - 試験日 十月二十八日(土)
- 公募制推薦入学試験B(併願)
 - 願書受付 十一月十三日～二十日
 - 試験日 十一月二十六日(日)
- 一般入学試験
 - 願書受付 一月九日～十七日
 - 試験日 一月二十六(土)・二十七日(日)
- 社会人入学試験

願書受付 一月九日～二十三日
試験日 一月二十六日(土)

【専攻科保育専攻】

○第一回一般入学試験
願書受付 六月十九日～三〇日
試験日 七月八日(土)

○第二回一般入学試験

願書受付 一月二十九日～二月八日
試験日 二月十七日(土)

【専攻科介護福祉専攻】

○推薦入学試験

願書受付 六月十九日～三〇日
試験日 七月八日(土)

○第一回一般入学試験

願書受付 十二月二十日～十二月一日
試験日 十二月九日(土)

○第二回一般入学試験

願書受付 一月二十九日～二月九日
試験日 二月十七日(土)

○第一回社会人入学試験

願書受付 六月十九日～三〇日
試験日 七月八日(土)

○第二回社会人入学試験

願書受付 十一月二十日～十二月一日
試験日 十二月九日(土)

詳細は募集要項を参照してください。

その他・AO入試・日本聖公会 教会推薦入試・同窓生推薦入試については入試広報課へお問合せください。

2005年度 就職状況

柳城の特色

高い専門職への就職率

本年度は、保育科一七六名、保育専攻四名、介護福祉専攻二九名、合計二〇九名が卒業しました。そのうち一七八名が就職を希望し、全員その夢をかなえました。また進学を希望した学生は二四名で、その中の二一名は本学の保育専攻か介護福祉専攻へ進んでいます。

就職を希望した一七八名中一七六名は、幼稚園・保育園・児童施設・老人施設等、専門を活かした職種に就職しました。就職者全体に対する専門職への就職割合は、実に九九パーセントです。七年連続の就職率一〇〇パーセントと非常に高い専門職への就職率は、本学の大きな特色と言えます。

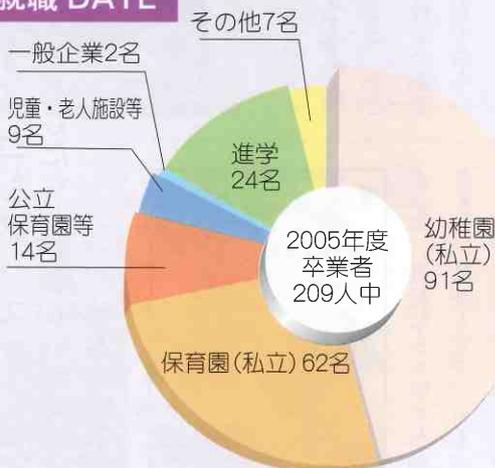
今、大学や短期大学等を卒業する学生の四人に一人がフリーターか無業者で大きな社会問題になっています。そういう事態に照らして見た場合、本学の学

生が強い目的意識を持ち、自分の夢を実現させる形で卒業しているのはすばらしいことだと思います。

なお本学では数年前から、既卒者の方への就職斡旋も行っています。臨時職員としての採用が多く正規職員としての就職はなかなか難しい面がありますが、本年度は臨職・正職合わせて二〇名近くの方をお世話することができました。



就職 DATE



	卒業者数(人)	就職希望者(人)	就職率(%)	進学者(人)	就職希望なし(人)
保育科	176	151	100	22	3
専攻科	保育専攻	4	2	1	1
	介護福祉専攻	29	25	1	3
計	209	178	100	24	7

(2006年3月31日現在)

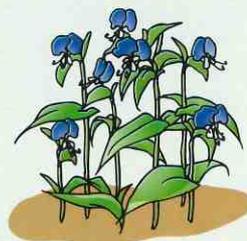
2005 年度会計報告

消費収支の状況 (単位千円)

	科目	2004 決算	2005 決算
消費 収入 の 部	学生生徒納付金	586,811	590,829
	手数料	13,342	11,640
	寄付金	10,539	6,195
	補助金	146,764	149,363
	資金運用収入	1,054	957
	事業収入	22,954	20,485
	雑収入	10,003	8,525
	帰属収入合計	791,467	787,994
	基本金組入額	△56,313	△12,460
	消費収入合計	735,154	775,534
消費 支出 の 部	人件費	418,534	396,528
	教育研究経費	188,402	213,271
	管理経費	43,743	30,238
	借入金利息	10,687	9,350
	資産処分差額等	1,346	1,907
	消費支出合計	662,712	651,294
当年度消費収支差額	72,442	124,240	
前年度消費支出超過額	△636,305	△563,863	
基本金取り崩額	---	5,120	
翌年度繰越消費支出超過額	△563,863	△434,503	

貸借対照表の推移 (単位千円)

		2004	2005
資産 の 部	固定資産	1,923,790	1,882,431
	流動資産	954,699	1,040,610
	(内、預金)	(945,659)	(1,035,818)
	資産合計	2,878,489	2,923,041
負債 の 部	固定負債	575,026	494,691
	(内、借入金)	(396,269)	(322,560)
	流動負債	151,511	139,698
	負債合計	726,537	634,389
資本 の 部	基本金	2,715,815	2,723,155
	消費収支差額	△563,863	△434,503
	資本合計	2,151,952	2,288,652



2005 年度決算を振り返って

①収支の状況

2005 年度は、消費収支で 124,240 千円の収入超過、帰属収支で 136,700 千円の収入超過と良い結果が与えられました。これは収入面で、短大・附属幼稚園ともほぼ前年度並みの学生園児数が与えられ学生生徒納付金や補助金が前年度をやや上回る水準で確保できたこと、支出面で人件費・管理経費を中心に削減を図り消費支出を抑えられたこと、によるものです。

投資面では、短大のマルチメディア教室・自習室の機器整備（パソコン更新等）中心に教育投資を行いました。今後とも教育環境の充実を図ってまいります。

②財産の状況

上記の収支状況を受けて、バランスシートもかなり改善されました。2005 年度末の総資産は 2,923,041 千円、内 自己資本は 2,288,652 千円（自己資本比率 78.3%）となり、経営安定の目処としていた自己資本比率 80%にかなり近づいてまいりました。しかし、未だ繰越消費支出超過額が 434,503 千円残存しておりますので、その一掃を図ることが課題となっております。

資金収支の状況 (単位千円)

	科目	2004 決算	2005 決算
収 入 の 部	学生生徒納付金	586,811	590,829
	手数料	13,342	11,640
	寄付金	6,681	5,757
	補助金	146,764	149,363
	資金運用収入	1,054	957
	事業収入	22,954	20,485
	雑収入	6,319	4,468
	前受金収入	137,090	124,545
	その他の収入	38,536	8,208
	資金収入調整勘定	△131,599	△140,309
	前年度繰越支払資金	811,228	945,659
	収入の部合計	1,639,180	1,721,602

	科目	2004 決算	2005 決算
支 出 の 部	人件費	422,448	399,096
	教育研究経費	120,837	145,956
	管理経費	43,059	29,558
	借入金利息	10,687	9,350
	借入金返済支出	77,235	73,709
	施設関係支出	5,963	4,935
	設備関係支出	13,209	19,419
	資金運用支出	7	3,001
	その他支出	9,801	10,056
	資金支出調整勘定	△9,725	△9,296
	次年度繰越支払資金	945,659	1,035,818
	支出の部合計	1,639,180	1,721,602

人事

短大

退職 (2005年7月31日)

吉田 正 (教務・入試広報課長)

(2006年3月31日)

松山由美子 (講師)

三好 禎之 (講師)

真野 路子 (特任講師)

採用 (2005年10月1日)

堀川真由美 (特任職員)

(2006年1月1日)

佐藤 章裕 (専任職員)

(2006年3月31日)

萩 敦子 (助手)

(2006年4月1日)

村田 康常 (専任講師)

小平 英志 (専任講師)

長谷中崇志 (専任講師)

異動 (2006年4月1日)

塚田 一宣 (短大事務局長兼務を解く)

飯田 和也 (教学部長・教務課長兼務)

中村 雅 (総務部長・庶務課長兼務・経理課長兼務)

宮嶋 英一 (入試広報課長兼務)

渋谷 勝治 (教務部庶務係長)
森 智恵子 (教務部入試広報課)

採用 (非常勤講師)

保育科 長尾 寛子

谷 美鈴

内田 政一

西井知世子

武田 康代

専攻科介護福祉専攻

高丸 伸子

後藤 喜恵

壬生 尚美

細野 晃弘

附属幼稚園

退職 (2005年8月31日)

内海 直美 (豊田幼稚園)

(2006年3月31日)

洪澤 一郎 (柳城幼稚園)

中島真由美 (豊田幼稚園)

加塚 佳子 (豊田幼稚園)

採用 (2006年4月1日)

大和田康司 (柳城幼稚園)

太田 久貴 (豊田幼稚園)

水野 美穂 (豊田幼稚園)

異動 (2006年4月1日)

小野田陽子 (豊田幼稚園)

吉永 有芽 (三好幼稚園)

渡辺 敏光 (法人事務局)

第三者評価

成田 朋子

わが国の大学改革・教育改革は、一九九一年の大学審議会答申「高等教育の改善について」以降目まぐるしく展開され、二〇〇三年の「学校教育法の一部改正」において、ついに第三者評価が法的に義務づけられることになりました。これによってすべての短期大学は、少なくとも七年に一度は教育研究、組織運営、施設設備、財務等の総合的状況についての評価を受ける義務が生じました。本学ではALO (認定評価作業連絡網 整担当者) に成田を、評価員に夏目教授を選任し、二〇〇七年度の受審を短期大学基準協会に申請しています。来年度早々には受審に備えた自己点検報告書を出す予定です。評価の結果は名古屋柳城短期大学の進むべき方向に大きく影響しますから、全教職員の協力で取り組みたいものです。

2006年度 主要行事予定

- 4 / 4 (火) 入学式
- 4 / 27 (木) 28 (金) 合同ゼミナール (保育科1・2年)
- 5 / 22 (月) 幼稚園教育実習 (保育科2年)
- 6 / 17 (土) 授業公開
- 6 / 19 (月) 介護実習第一段階
- 7 / 22 (土) オープンキャンパス
- 8 / 7 (月) 夏季休暇開始・施設実習 (保育科2年)
- 9 / 9 (土) オープンキャンパス
- 9 / 18 (祝) 介護実習第二段階
- 9 / 19 (火) 保育科・専攻科保育専攻後期授業開始
- 10 / 5 (木) 創立記念日 (平常授業)
- 10 / 15 (日) 紙芝居フォーラム
- 11 / 1 (水) 創立記念礼拝
- 11 / 2 (木) ・3 (祝) 柳城祭
- 11 / 13 (月) 幼稚園教育実習 (保育科1年) ・保育所実習 (保育科2年)
- 11 / 20 (月) 介護実習第三段階
- 12 / 13 (水) クリスマスコンサート
- 12 / 20 (水) クリスマス礼拝
- 12 / 23 (祝) 冬季休暇開始
- 1 / 9 (火) 授業開始
- 1 / 10 (水) 訪問介護実習
- 2 / 19 (月) 保育所実習 (保育科1年)
- 3 / 15 (木) 終業・卒業・修了礼拝
- 3 / 16 (金) 卒業・修了式

編集後記

門外漢の私でしたが、今回、編集の責の一人に預かることができて感謝しています。頂いた原稿を読むほどに、執筆の方々、柳城短大に対する並々ならぬ思い入れを感じました。愛とは強制されるものではなく、自然に感じるものでしょうが、母校愛というのも決して例外ではないでしょう。学生の皆さんが一番学ぶべきものは、108年の伝統と建学の精神に裏付けられた、本校のすばらしい「魂」かもしれません。

とはいえ、本校も完全ではありません。教育環境も年々変化しています。現場で働く者の謙虚な向上心と、この学報を、今、手にしている皆様方のご支援とご協力がなくては、道に迷う事にもなりかねません。

でも、心配は無用でしょう。最後に、聖書の偉大な言葉で、今年度の学報を締めたいと思います。

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探さなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」

(マタイによる福音書 7.. (K))